

令和2年4月27日

栃木県知事 福田 富一 様

特定非営利活動法人宇都宮まちづくり市民工房	理事長	安藤 正知
特定非営利活動法人とちぎユースサポーターズネットワーク	代表理事	岩井 俊宗
特定非営利活動法人トチギ環境未来基地	理事長	塚本 竜也
特定非営利活動法人ま・わ・た	理事長	飯野 滋生
NPO鹿沼協会	会長	町田 英俊
特定非営利活動法人ハイジ	代表理事	酒巻 幸夫
一般社団法人とちぎ市民協働研究会	代表理事	廣瀬 隆人

新型コロナウイルスの影響による社会貢献活動団体による多様な市民活動の存続危機に対する支援に関する要望書

日頃より県民生活の向上及び市民社会づくりにご尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

標記について、地域の様々な課題解決を担う社会貢献活動団体（NPO 法人や一般社団法人、任意団体等として社会課題の解決等に取り組む組織）の事業や活動の停止等により、さらに困難を抱える人が増えないためにも、ご対応をいただきたく、下記のとおり要望いたします。

## 記

### 1. 要望の趣旨

令和2年2月中旬頃から続く新型コロナウイルス拡大防止のための自粛要請に伴い、社会貢献活動団体にも事業や活動の継続に係る影響が出ており、またその深刻性が日々増えています。地域にはこうした団体による多様な支援により生活を支えられている人が多くいます。今回の自粛要請に伴う事業や活動の停止や利用者の減少により組織の維持や職員の雇用が困難となれば、そうした団体の支援を受けている人も支えを失い、困難を抱える人が急増する可能性があります。この要望は、そうした事態を引き起こさないためにも、そして、オールとちぎで市民の命や生活、安全を守るためにも、社会貢献活動団体への包括的な支援を求めるものです。

### 2. 要望の理由

前述のとおり、社会貢献活動団体が事業や活動の停止や廃止、組織の解散を選択しなくてはならない事態が多発した場合、それに伴う経済的な被害や失業者の問題に加え、今後、経済困窮の加速から複合的な困難を抱える人が増えていくことが予想され、それらを支える担い手が不足し、状況が悪化する事態が懸念されます。また、福祉、社会教育、まちづくり、中山間地域の振興、文化、スポーツ等多様な分野において活発な市民活動が後退し、連鎖して様々な社会の綻びが生まれる可能性があります。

### 3. 要望の内容

上記の状況に対して以下の支援策実施を要望いたします。

- (1) 今後、展開される事業者を対象とした緊急経済対策等において、NPO 法人及びそれに準じる組織も対象とすることを明示し、自粛要請による影響で収入が減少した社会貢献活動団体が資金的な支援等が得られるようにすること。
- (2) 今後、展開される支援策等に関する情報について、社会貢献活動団体への周知を徹底すること。あわせて、各地の市民活動支援センター等を通じた社会貢献活動団体への支援を強化すること。
- (3) 新たな支援策の立案及び実施に当たっては、社会貢献活動団体及びその団体の事業や活動により支えられている人のニーズを尊重すること。
- (4) その他、市町単位で社会貢献活動団体の事業や活動の継続のための包括的な支援を実施すること。